



UTILITY PATENT
IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Minoru Mitamura
Serial No. : 10/676,582
Filing Date : October 1, 2003
Title : READING GLASSES
Docket No : 17494/120
(formerly 212915)

Confirmation No.: 7979

Group Art Unit: 2873

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

I CERTIFY THAT THIS PAPER IS BEING DEPOSITED WITH THE
U.S. POSTAL SERVICE AS FIRST CLASS MAIL WITH
SUFFICIENT POSTAGE AND IS ADDRESSED TO THE
COMMISSIONER OF PATENTS, P.O. BOX 1450, ALEXANDRIA,
VA 22313-1450, ON DECEMBER 30, 2003 (37 CFR 1.8a).

Alan D. Kamrath

CERTIFIED COPY TRANSMISSION

Dear Sir:

Enclosed is a certified copy of Japanese application U2002-008488 filed 16
December 2002 for claiming priority in the above application.

Respectfully submitted,

Minoru Mitamura

By *Alan D. Kamrath*
Alan D. Kamrath, Reg. No. 28,227
Attorneys for Applicant
Rider Bennett, LLP
333 South Seventh Street
Suite 2000
Minneapolis, Minnesota 55402
(612) 340-8925
(612) 340-7900 facsimile

DATED: December 30, 2003

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 2 月 1 6 日
Date of Application:

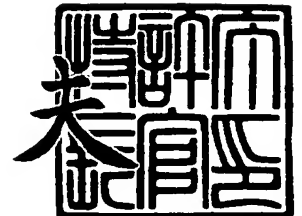
出 願 番 号 実 願 2 0 0 2 - 0 0 8 4 8 8
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 0 0 8 4 8 8 U]

出 願 人 三 田 村 稔
Applicant(s):

2 0 0 3 年 9 月 2 4 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



【書類名】 実用新案登録願

【整理番号】 02-29833

【提出日】 平成14年12月16日

【あて先】 特許庁長官 殿

【考案者】

【住所又は居所】 福井県鯖江市下野田町 5 - 3 - 3 0 番地

【氏名】 三田村 稔

【実用新案登録出願人】

【識別番号】 502360488

【住所又は居所】 福井県鯖江市下野田町 5 - 3 - 3 0 番地

【氏名又は名称】 三田村 稔

【電話番号】 0778-62-0075

【納付年分】 第 1 年分から第 3 年分

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【考案の名称】 老眼鏡

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 ハーフアイ老眼鏡（13）において、レンズの光学中心を枠入したメガネレンズの上部切り口線上（5）から上に2ミリ、下に2ミリの範囲以内（14）に位置させたことを特徴とする老眼鏡。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は、老眼鏡に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 以下、従来の実施例を図1の図（B）に基づいて構成を説明すると、従来のハーフアイ老眼鏡のレンズの光学中心は、枠入したメガネレンズの上下幅の概ね中心部（7）に位置させているため、同一の像を裸眼で見た場合とレンズを通して見た場合とで、交互して見ると像が上下して見える。

これを、用紙に書かれた文字を見た場合を例に説明すると、裸眼で見た文字（16）は実像として正しい位置に見られるが、レンズを通して見た同じ文字（15）は位置が上方にズレて見える。

この像の上下する見え方が見にくい原因の一つとなる。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

レンズを通して見る近方視と、裸眼で見る中遠方視の両方を使い分けするハーフアイ老眼鏡において、同一の像を裸眼で見た場合とレンズを通して見た場合とで、交互して見ても、像が上下する見え方が少ない快適な視野が必要である。

【0004】

【課題を解決するための手段】

ハーフアイ老眼鏡（13）において、レンズの光学中心を枠入したメガネレンズの上部切り口線上（5）から上に2ミリ、下に2ミリの範囲以内（14）に位置させて枠入れをする。

【0005】

【発明の実施の形態】

本考案は、一般的なハーフアイ老眼鏡として使用するものである。

【0006】

以下、本考案の請求項 1 の実施例として、図 1 の図 (A) に基づいて構成を説明する。

本考案のハーフアイ老眼鏡 (13) において、レンズの光学中心を枠入したメガネレンズの上部切り口線上 (5) から上に 2 ミリ、下に 2 ミリの範囲以内 (14) に位置させて枠入れをしたものである。

この方法で枠入れした老眼鏡は、同一の像を裸眼で見た場合とレンズを通して見た場合とで、交互して見ても像が上下する見え方が極めて少ない。

これを、用紙に書かれた文字を見た場合を例に説明すると、裸眼で見た文字 (16) も、また、レンズを通して見た文字 (15) もほぼ同じの横の列上に見えるのである。

【0007】

【発明の効果】

本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0008】

レンズを通して見る近方視と、裸眼で見る中遠方視の両方を使い分けするハーフアイ老眼鏡において、同一の像を裸眼で見た場合とレンズを通して見た場合とで、交互して見ても、像が上下する見え方が極めて少ない快適な視野が得られるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 の図 (A) は、従来のハーフアイ老眼鏡で、レンズを通して見た文字 (15) と裸眼で見た文字 (16) を示す見え方の説明図である。

図 1 の図 (B) は、本考案のハーフアイ老眼鏡で、レンズを通して見た文字 (15) と裸眼で見た文字 (16) を示す見え方の説明図である。

【図 2】

ハーフアイ老眼鏡を使用している状態を正面から見た説明図である。

【図 3】

ハーフアイ老眼鏡を使用している状態を側面から見た説明図である。

レンズを通して見る視線（1 1）近方視と、裸眼で見る視線（1 2）の中遠方視の視線を示している。

【図 4】

ハーフアイ老眼鏡を説明する斜視図である。

【図 5】

図 5（A）は、ハーフアイ老眼鏡を説明する上面図である。

図 5（B）は、ハーフアイ老眼鏡を説明する正面図である。

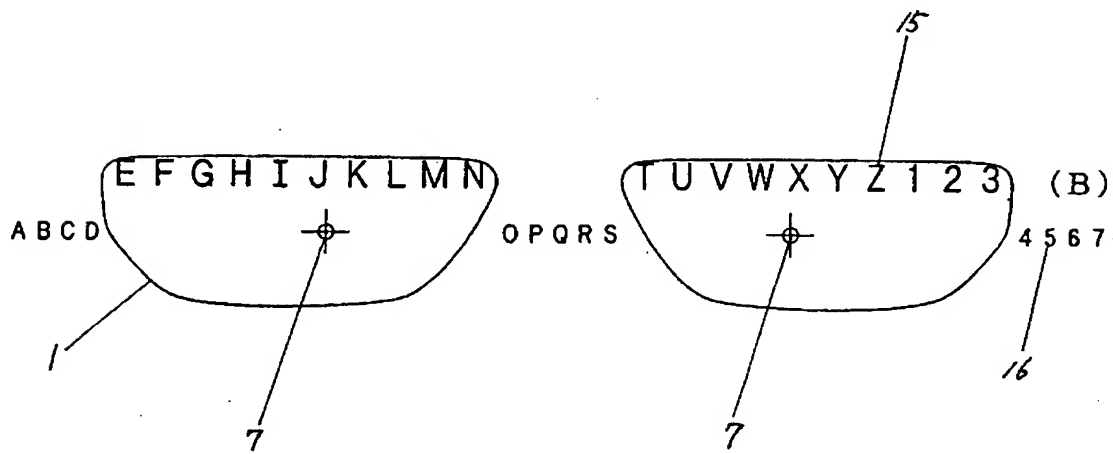
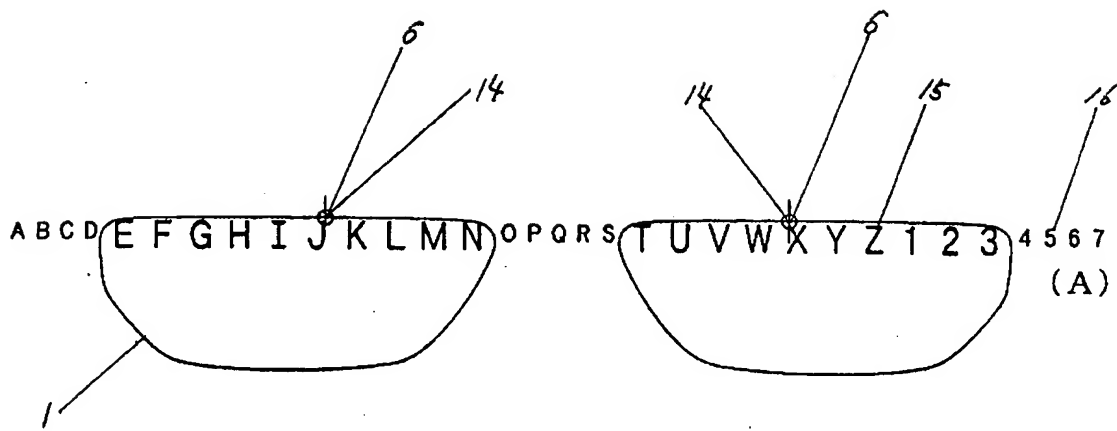
図 5（C）は、ハーフアイ老眼鏡を説明する側面図である。

【符号の説明】

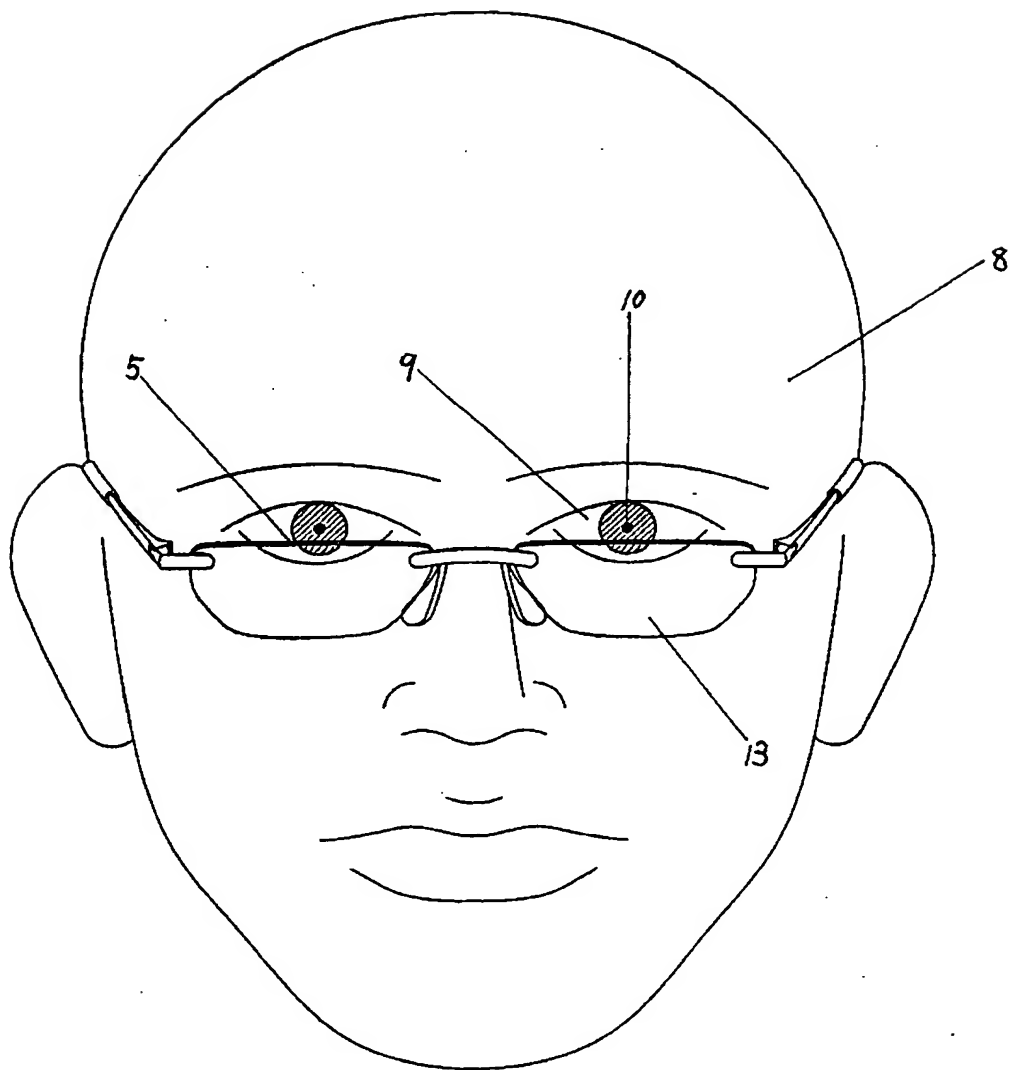
- 1 レンズ
- 2 ブリッジ
- 3 ツル
- 4 鼻パッド
- 5 メガネのレンズの上部切り口
- 6 メガネのレンズの上部切り口線上にあるレンズの光学中心の位置
- 7 メガネレンズの上下幅の概ね中心部にあるレンズの光学中心の位置
- 8 使用者の顔
- 9 眼球
- 1 0 瞳
- 1 1 レンズを通して見る視線
- 1 2 裸眼で見る視線
- 1 3 ハーフアイ老眼鏡
- 1 4 上に 2 ミリ、下に 2 ミリの範囲以内に位置させた光学中心
- 1 5 レンズを通して見た文字
- 1 6 裸眼で見た文字

【書類名】 図面

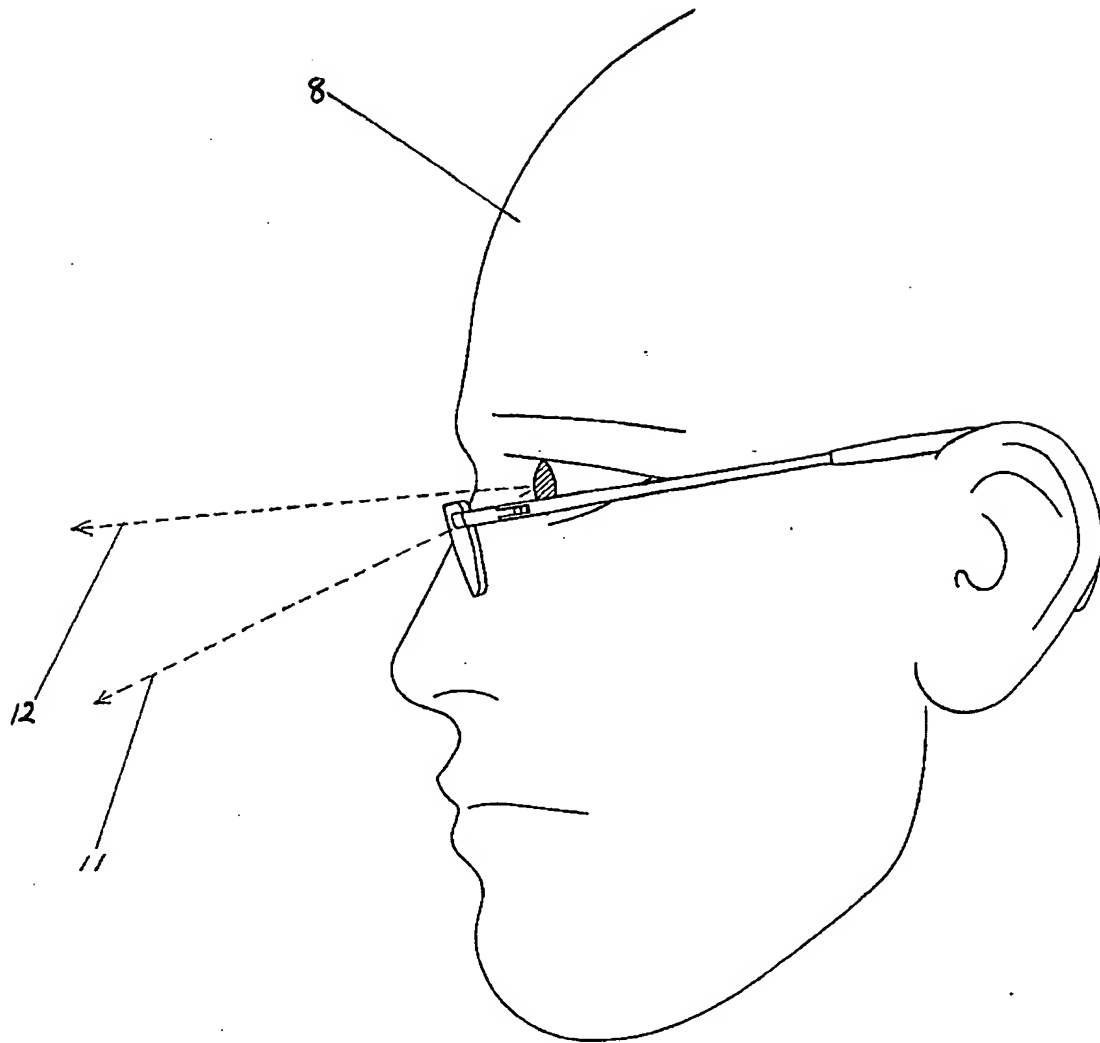
【図 1】



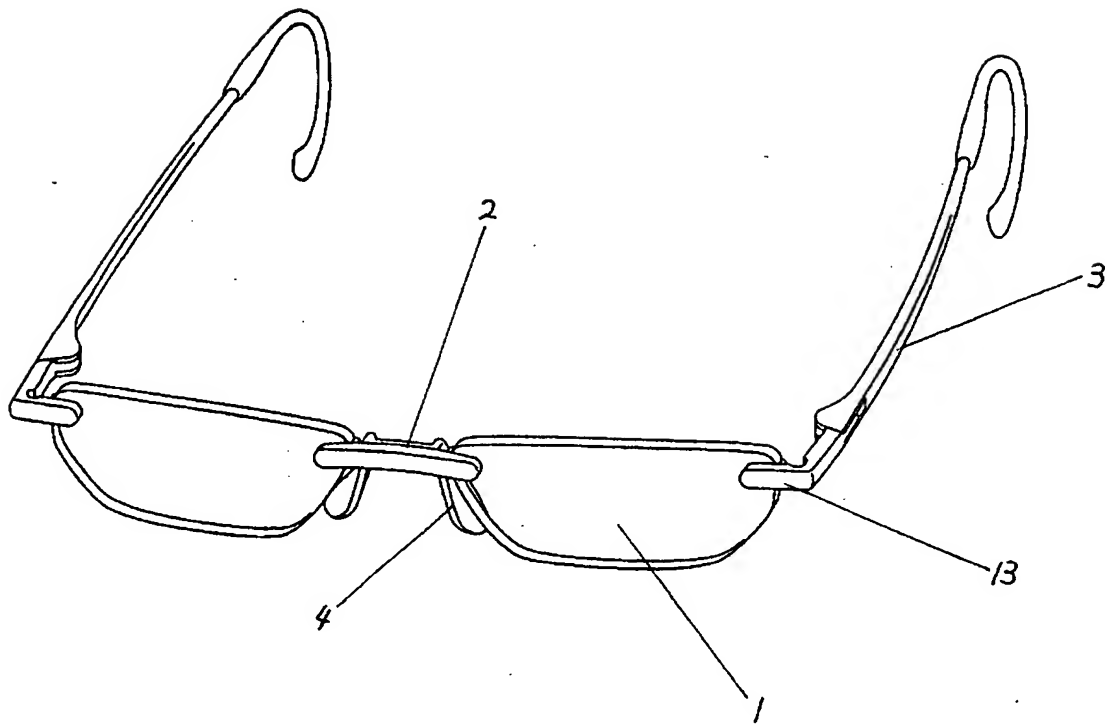
【図2】



【図3】

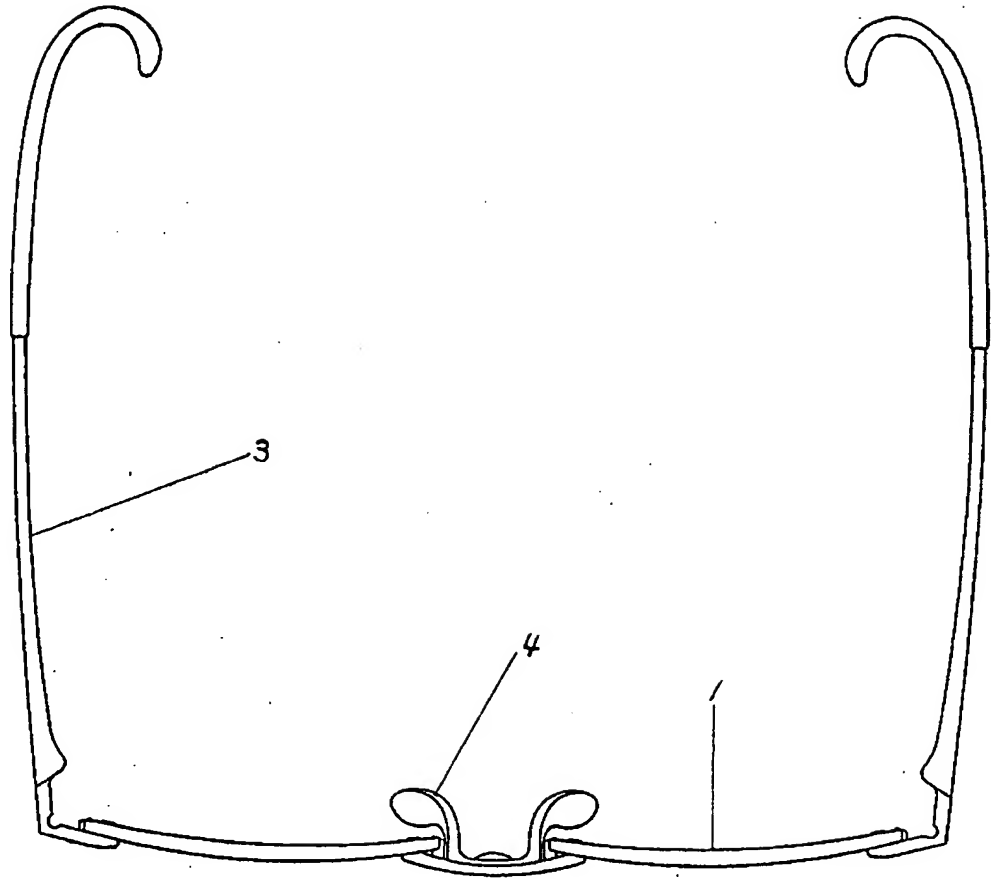


【図 4】

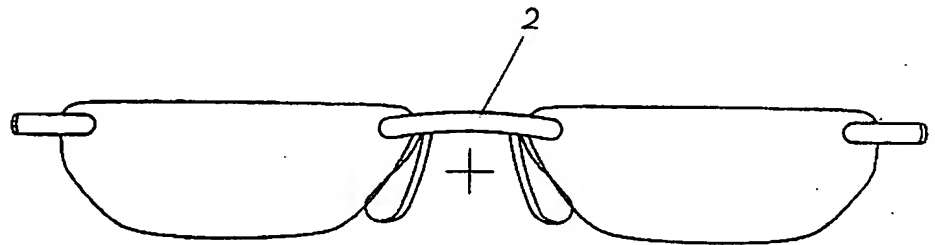


【図5】

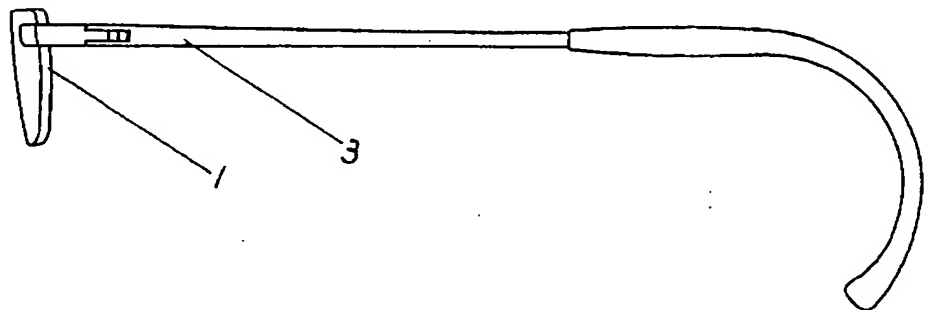
図(A)



図(B)



図(C)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 レンズを通して見る近方視と、裸眼で見る中遠方視の両方を使い分けするハーフアイ老眼鏡において、同一の像を裸眼で見た場合とレンズを通して見た場合とで、交互して見ても像が上下する見え方が極めて少ない、快適な視野を得ることである。

【解決手段】 本考案のハーフアイ老眼鏡（13）において、レンズの光学中心を枠入したメガネレンズの上部切り口線上（5）から上に2ミリ、下に2ミリの範囲以内（14）に位置させて枠入れをしたものである。

この方法で枠入れした老眼鏡は、同一の像を裸眼とレンズを通した場合とで交互して見ても、像が上下する見え方が極めて少ない。

【選択図】 図1

実願 2002-008488

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[502360488]

1. 変更年月日

2002年 8月29日

[変更理由]

新規登録

住 所

福井県鯖江市下野田町5-3-30番地

氏 名

三田村 稔